

## 編集委員会からのお知らせ

前号でお知らせしたとおり、印刷所から PDF 形式の抜き刷りをご提供いただけることになりました。これを機に編集委員会および理事会で抜き刷りのあり方について慎重に検討し、次の結論に達しました。

- ・ PDFの急速な普及とコスト削減の必要性に鑑み、2012 年度より和文誌，欧文誌とも抜き刷りはPDF形式で提供します。
- ・ 印刷版の抜き刷りは有料とし、希望者に実費で提供いたします。
- ・ 今年度中は移行措置として、PDF 形式か印刷版か、どちらか一方の抜き刷りを無償で提供します。両方をご希望の方には、PDF 形式の抜き刷りを無償で提供し、印刷版は実費で提供いたします。
- ・ なお、学会が著作権を有する文書の電子ファイルが濫用されないことがないように、PDF の取り扱いを定めた投稿規定を作成し、54-2 号に掲載する予定です。

また、より投稿しやすく読みやすい学会誌を目指し、2012 年度より判型および投稿規定を下記のとおり変更いたします。

- ・ 現状では、和文誌がA5 判，欧文誌がB5 判となっていますが、和文誌については、図表（挿図，地図を含む）を重視する会員から、見やすい図表を文章中に配置することが困難であるという意見があります。この問題点を解決するために、2012 年度発行の 55 巻 1 号より和文誌の判型を欧文誌と同じB5 判とします。これにより、図表を重視する会員にとってより投稿しやすい環境を整えることができます。
- ・ 現行の規定では「論文」「研究ノート」に 400 字詰め 30～50 枚という枚数制限と図版，挿図，地図 10 点以内という規定が設けられています。これに関しては、図表のスペースが所定の紙幅に追加されるため、図表が多い原稿が図表のない原稿に比べて目に見えて多くの誌面を占める場合があるとの問題が指摘されてきました。また、より長い原稿を投稿したいという声も根強くあります。そこで、投稿規定を改訂し、図表を含んだ分量制限を設けるとともに、従来の枚数制限を越える原稿でも、内容的に判断して正当な分量であると編集委員会が判断すれば、400 字詰め換算で 90 枚（図表を含む）を上限として掲載を認めることにいたします。図表の枚数換算等、詳細につきましては 54-2 号に掲載予定の新投稿規定をご参照ください。

以上